

中国、韓国の友好都市等へのシティセールス

東日本大震災の影響による本市の国際交流事業の停滞や本市への外国人観光客が激減したことを受け、国際交流事業の再開と、訪日観光客の確保に努めるため、5月30日から6月2日までの4日間で、中国の青島市、瀋陽市、韓国の坡州市を訪問し、本市のシティセールスを行ってきました。訪問先では、各都市の市長はじめ関係者の皆さまに本市の安全性や魅力を改めて認識していただき、また今後もさらに相互に活発な交流を行い、より発展的な関係を築いていくことを確認してきました。今後とも、東アジアへ向けた情報発信については、積極的な取り組みを進めていきます。



青島市を訪問し、夏耕(か・こう)市長と会談する朝長市長



瀋陽市との友好交流都市協定締結式で顧春明(こ・しゅんめい)常務副市長と握手を交わす朝長市長

瀋陽市との友好交流都市締結

一昨年5月に民間レベルで「観光交流友好協議書」を締結していた中国瀋陽市と、5月31日、行政間で「友好交流都市」の協定を締結しました。瀋陽市は遼寧省の省都で、人口約710万人、中国東北部の交通や経済の要衝となっており、本市から約4時間で行き来できる距離にあります。2009年の経済成長率は14%と全国平均を上回っており、安定的な成長を維持しています。今後とも瀋陽市との観光交流を推進するとともに、人材や文化、産業など多分野での交流を活発に行いながら、より高い経済効果が得られるよう努めていきます。

市政の動き

6月市議会 重要事項の報告など

6月23日(木)、6月定例会市議会が開会。朝長市長は施政に対する所信表明で「地元経済の活性化と雇用拡大の推進」を最重点課題として取り組むことなどを説明し、「東アジアを視野に入れた効果的な展開を図りたい」と述べました。市長の所信や市政の重要事項の報告の中から、一部を抜粋、要約してお知らせします。

農林業の振興

本市を主会場として平成24年10月に開催される「第10回全国和牛能力共進会長崎県大会」は、大会の愛称が「和牛の祭典 in ながさき」に決まりました。本市では、出品候補牛の確保、早期肥育技術向上の支援などの出品対策に取り組み、この大会を契機に本市畜産業全体の浮揚を図ります。また、県実行委員会事務局が行う「1年前イベント」を皮切りに機運の盛り上げを図りながら、観光面など本市の経済活性化につなげていきます。



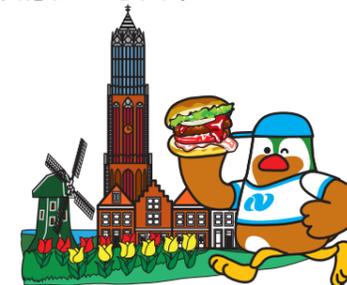
大会マスコットキャラクター「かさべこくん」

全国和牛能力共進会

全国の優秀な和牛を5年に1度、一堂に集めて優劣を競う大会。38道府県から約500頭が出品されます。審査結果が和牛のブランド化に大きく影響することから、各道府県の威信をかけた非常に重要な大会と位置付けられています。本市を主会場として開催される第10回大会は、期間中に県内で約37万人の来場者が予想されるなど、大きな経済効果が期待されています。

スポーツに親しめる環境づくり

平成26年の長崎がんばらんば国体については、本市開催競技の推進組織である佐世保市準備委員会を執行委員会へ改組し、円滑な運営に向けての組織体制等の充実を推進するとともに、広報活動等を通して市民や関係者の皆さまへ周知を図り、機運の醸成に努めていきます。また「東部スポーツ広場の体育館建設」などの施設整備や競技力向上に資する取り組みなどについても引き続き実施していきます。



長崎がんばらんば国体

45年ぶりに長崎県で開催される第69回国民体育大会。平成26年10月に開催予定。正式競技全37競技のうち本市では8競技を実施します。詳しくは本紙裏表紙をご覧ください。

上海航路就航の現状報告

上海航路について、ハウステンボスでは当初、定員700人(将来的には約1700人)の船舶を購入され、この夏に就航することを目指されていましたが、東日本大震災の影響により外国人観光客が減少している状況をかんがみ、運航開始を来年3月からに変更し、週3便の定期便を運行することとして現在、準備を進められています。今後は本年11月に、長崎県-上海市友好交流15周年のイベント船として1往復の運航を行い、その後、中国の旧正月の需要に合わせて週1、2便程度の不定期運航を開始する意向であるとお聞きしています。本市では、この上海航路開設を本市の経済浮揚に確実ににつなげていくため、外国人観光客の誘致促進・歓迎体制の強化など、さまざまな施策に、時機を逸することなく積極的に取り組んでいきたいと思っております。

全国大会における佐世保勢の活躍



県北トレーニング室(天満町)での練習風景(右)、表彰状を手にする木下さん(左)

5月4日から5日まで千葉県印西市で開催されたクライミング競技「JFAユース日本選手権2011」リード女子アンダーユースBの部において日宇中学校1年生の木下茜選手が見事「準優勝」されました。

石木ダム建設事業

石木ダム建設事業については、長崎県による石木ダムの検討が行われています。関係地方公共団体からなる「検討の場」では、本市の水事情の実態や平成6年の危機的な大湯水の実情、市民生活や地域振興等における石木ダムの必要性について私自身の考えや意見を述べさせていただいており、検討の場の結論としては、「他の代替案と比較しても石木ダムが優位である」と確認がされました。その後、5月25日と6月6日に、県の「公共事業評価監視委員会」において、検討の場の結果を踏まえた審議が行われており、石木ダム事業を継続するとの方向で意見がまとめられました。今後は県において対応方針を決定され、国へ報告される予定となっています。※6月議会において、今後の国によるダム検証に対して、石木ダムの早期実現に向けて事業の進捗よくが図られることを要請する意見書が可決されました。



「検討の場」で石木ダムの必要性を説明する朝長市長

雇用の創出と労働の安定

市営工業団地の整備については、小佐々地域が昨年12月、長崎県の市町営大規模工業団地支援事業の候補地に選定されました。本年4月から用地買収の事前交渉や事業実施へ向けた実施設計関連業務等を進めており、平成24年度に造成工事に着手し、25年度末の完成を目指しています。早期完売へ

向けて企業誘致体制の強化を図り、企業誘致活動を積極的に行っていきたく思います。なお昨年12月、本市吉岡町に立地しためんたいこ等の製造を行う株式会社インヴィンシブル佐世保工場では、地元からの88人を含めた95人を雇用していただき、本年5月21日に操業を開始されています。

市立急病診療所の診療時間 ☎25-3352 ※年末年始は12月31日から1月3日。

診療科目	診療日	診療時間	
		現行	改正後(10月1日～)
内科	平日	—	20:00～23:00
	土曜	—	20:00～23:00
	日曜、祝日、年末年始	10:00～18:00	10:00～18:00
小児科	平日	20:00～23:00	20:00～23:00
	土曜	—	20:00～23:00
	日曜、祝日、年末年始	10:00～18:00	10:00～18:00
外科	日曜、祝日、年末年始	10:00～18:00	10:00～18:00

平成23年6月定例会市議会(6月23日～7月12日)

主な議案

一般会計補正予算27億1641万円(祇園中学校建設費5億2300万円、九十九島動植物園ペンギン舎整備費2億1000万円など)、佐世保市立急病診療所条例の一部改正の件(診療日の拡充)など